＜第62回総会アピール＞

地域の力を結集し、

「社会保障、社会福祉は国の責任で」の運動を広げよう！

国民生活破壊の安倍暴走政治は、ますます悪政を加速させています。社会保障解体とともに、働き方改革と称して過労死ラインを超える長時間労働を強いる労働法制改悪、森友、加計、自衛隊イラク派遣日報改ざん問題など民主主義を根底から覆す安倍政治に対する国民の怒りは広がってきています。中央社保協は、安倍政治NO！、安倍内閣の退陣を求めます。

安倍政治の下、格差と貧困はさらに深刻化し、医療や介護、生活保護、高齢者の年金への攻撃が強められています。「骨太方針2018」など政府の政策では、後期高齢者の医療費窓口負担の原則2割化、地域別診療報酬の全国的な導入、受診するたびに100円～500円の追加負担を求める、介護保険利用料2割負担やケアプランの自己負担、そして「自動調整機能」と称して患者負担増などをさらに進めようとしています。

また、「自助、互助」を中心に社会保障制度を「国民相互の助け合いの制度」に変質させていく施策が進められ、「我が事・丸ごと地域共生社会」で公的責任を地域に丸投げしようとしています。

憲法25条の精神は、国民には生存権があり、国家には生活保障の義務があることです。今こそ、「社会保障、社会福祉は国の責任で」の運動を全国津々浦々に広げていきましょう。2019年統一地方選挙や参議院選挙を展望し、さらに地域の力を結集し地域社保協を結成、社会保障運動の輪を広げていきましょう。

2018年7月4日中央社会保障推進協議会第62回総会